使いかたと もくじ

使いかた

1. 章の1枚目（章扉）はおうちのかたが持ちます。お子さまには2枚目以降を渡します。
2. 章扉の「ルールの説明」を、例題の紙を見せながら1回だけ読みます。本番でも説明は1回しかありません。
3. 問題は、例題、★1、★2、★3、★4の順に並んでいます。★の数が多いほど難しくなります。全部できなくてもかまいません。本番でも「できるところまでどんどん」と言われます。
4. まちがえたときは、2本の線で消して、正しいところに書き直します。消しゴムは使いません。本番の訂正のしかたです。
5. こたえの紙は、各章の終わりにあります。つまずいたときは、章扉の「つまずきやすいところ」を読んでから、もう一度やってみてください。
6. 本番想定テストは、2枚の台本をおうちのかたが読みながら進めます。目安は25分です。大問が変わるときに、前のルールを引きずらないよう「つぎは ちがう おやくそく」と声をかけてください。

もくじ

章	形式	問題数
1	線つなぎ	れいだい 1＋12
2	ライトと宝石	れいだい 1＋12
3	ハチの巣のミツ	れいだい 1＋12
4	車と笛の約束	れいだい 1＋12
5	天使と悪魔	れいだい 1＋12
6	いろの箱のおやくそく	れいだい 1＋12
7	買い物の道	れいだい 1＋12
8	魔法の袋	れいだい 1＋12
9	おなじ音をつなげる	れいだい 1＋12
10	不思議なペンキ	れいだい 1＋12
11	ボール箱	れいだい 1＋12
12	イモムシの色迷路	れいだい 1＋12
13	色の形パズル	れいだい 1＋12
14	おにぎりの地図	れいだい 1＋12
15	音を減らす	れいだい 1＋12
16	観覧車しりとり	れいだい 1＋12
テスト1	本番想定テスト 第1回	れいだい 5＋15
テスト2	本番想定テスト 第2回	れいだい 5＋15
テスト3	本番想定テスト 第3回	れいだい 5＋15
巻末	出題形式の一覧・ペーパー以外の試験・本番の受けかた	

ご購入いただいたご家庭内でお使いください（複製・再配布はご遠慮ください）

1章　線つなぎ

れいだい 1 ＋ もんだい 12

公開されている入試問題の形式を参考にした類題です。実際の入試問題の再現ではありません。

ルールの せつめい（おうちのかたが、れいだいの 紙を 見せながら 読みます）

これから、同じしるしどうしを線でつなぐ問題をします。

線は、たてと横に進めます。ななめには進めません。ほかのしるしがあるマスと、ほかの線が通ったマスは通れません。

例題を見てください。まると まる、さんかくと さんかくをつなぐと、この図のようになります。線が重ならなければ、ちがうつなぎ方でもかまいません。

まちがえたときは、線を2本の線で消して、書き直してください。★がふえるほど、マスの数と組の数がふえます。

★の 見かた

★	4×4のマス・3くみ。いちばん みじかい みちで つながる
★★	5×5・4くみ。まがる むきを まちがえると いきづまる
★★★	6×6・5くみ。どこかの くみが とおまわり
★★★★	7×7・6くみ。ひしがたの しるしも ある

つまずきやすい ところ

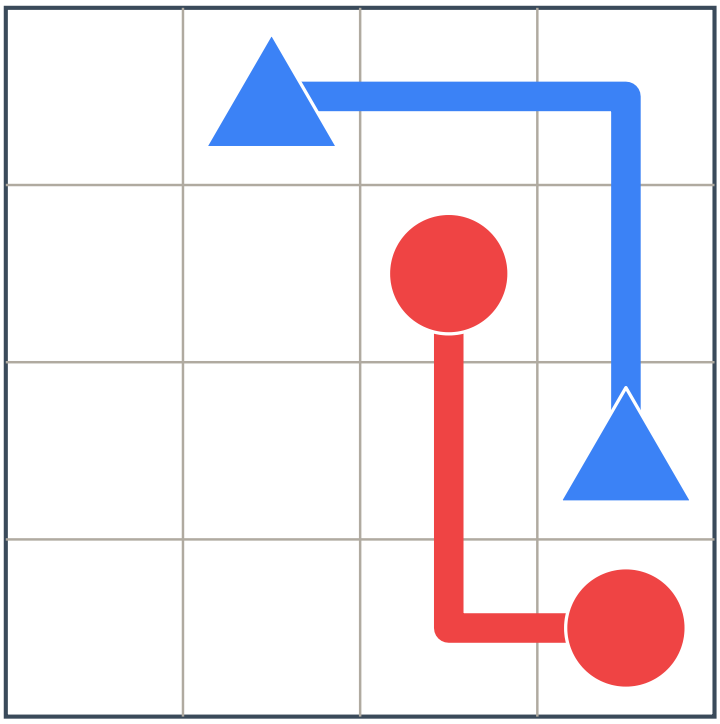
近い組からまっすぐつないでしまうと、あとの組の通り道をふさぐことがあります。1本ひく前に、残りの組が通れるかを指で確かめさせてください。

★3と★4は、どれか1組がわくぞいの空いたマスを使って遠回りしないとつながりません。「まっすぐで だめなら、まわりの あいた マスを つかう」と声をかけます。

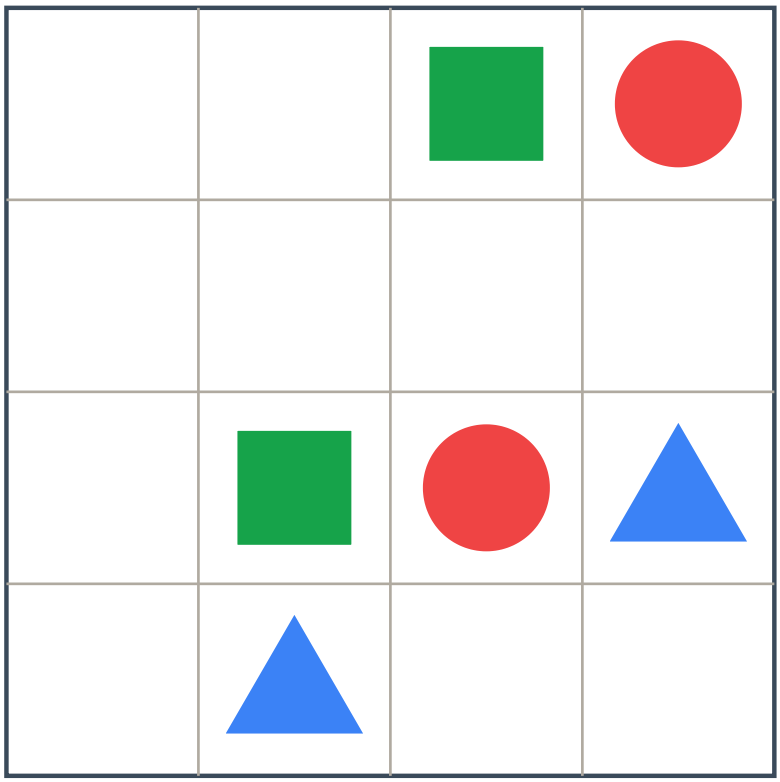
問題の紙は、れいだい → ★1 → ★4 の順に渡します。本番と同じく、ルールの説明は1回だけ、訂正は2本の線で消して書き直します。「できる ところまで どんどん」で、全部できなくてもかまいません。

ご購入いただいたご家庭内でお使いください（複製・再配布はご遠慮ください）

れい （れいだい）おなじ しるしどうしを、せんで つなぎます。まると まる、さんかくと さんかくを、ほかの せんと かさならないように つなぐと、この ずのように なります。



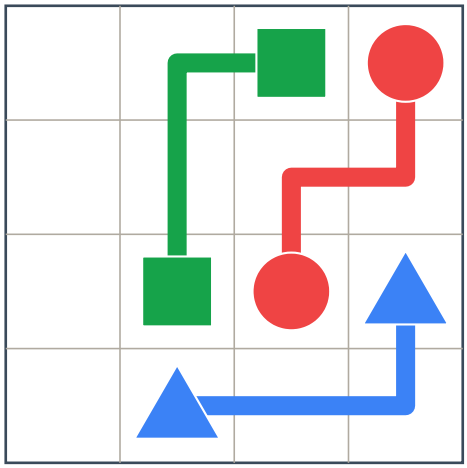
1 ★ おなじ しるしどうしを、せんで つなぎましょう。せんは たてと よこに すすめますが、ななめには すすめません。ほかの しるしや、ほかの せんが ある ますは とおれません。



ご購入いただいたご家庭内でお使いください（複製・再配布はご遠慮ください）

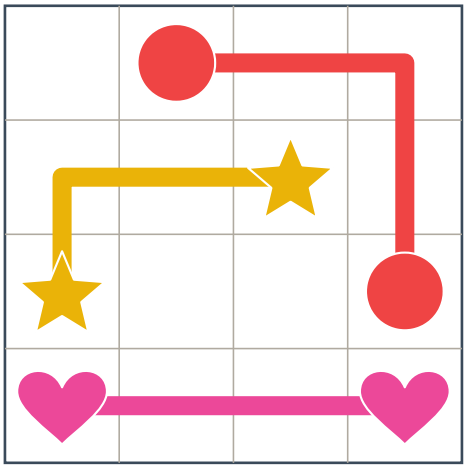
こたえ —— 1章 線つなぎ

1 No. SU-3022



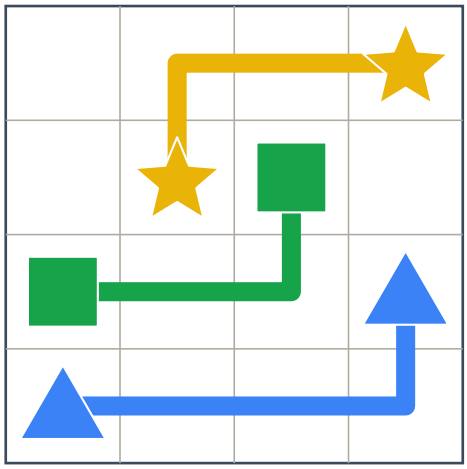
せんが かさならずに つながって いれば せいかい

2 No. SU-3023



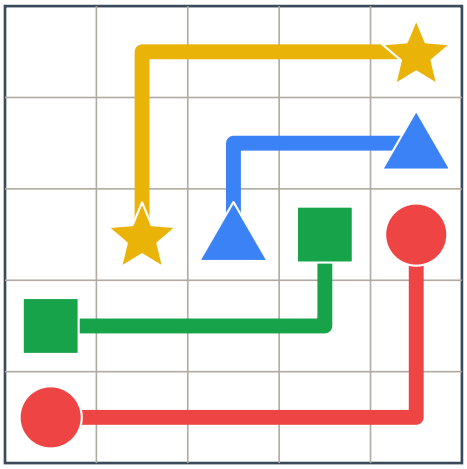
せんが かさならずに つながって いれば せいかい

3 No. SU-3024



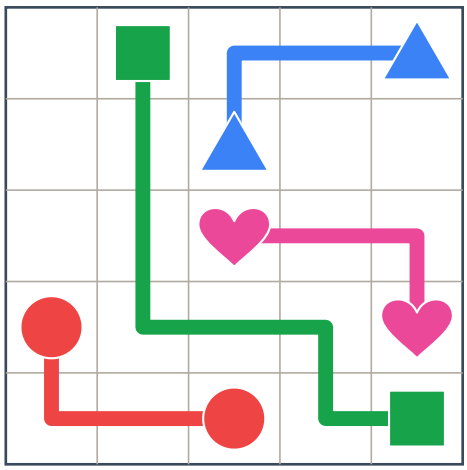
せんが かさならずに つながって いれば せいかい

4 No. SU-3025



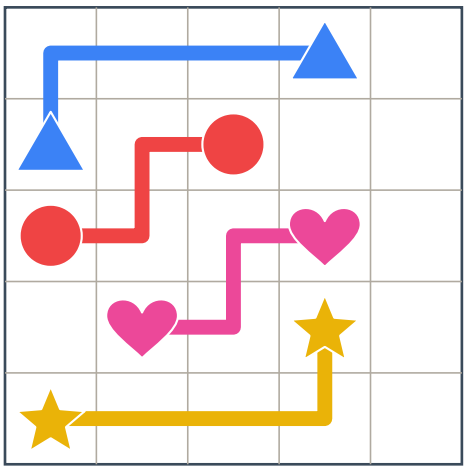
せんが かさならずに つながって いれば せいかい

5 No. SU-3026



せんが かさならずに つながって いれば せいかい

6 No. SU-3027



せんが かさならずに つながって いれば せいかい

3章　ハチの巣のミツ

れいだい 1 ＋ もんだい 12

公開されている入試問題の形式を参考にした類題です。実際の入試問題の再現ではありません。

ルールの せつめい（おうちのかたが、れいだいの 紙を 見せながら 読みます）

ハチが、巣の外にとまっています。ハチは、とまったところからまっすぐにならんだ部屋ぜんぶに、ミツを運びます。

2つの部屋のあいだの角にとまったハチは、2つの向きに運びます。黒い部屋があると、その手前でミツは止まります。

ミツが2回運ばれた部屋は、ミツがあふれてしまいます。例題を見てください。2ひきのハチのミツが重なる◯の部屋が、あふれる部屋です。

ミツがあふれる部屋をぜんぶさがして、◯をつけましょう。

★の 見かた

★	7つの へや・ハチ 2〜3びき
★★	19の へや・かどに とまる ハチ
★★★	くろい へやで ミツが とまる
★★★★	ハチ 4〜5ひき・くろい へや 3つ

つまずきやすい ところ

ハチ1ぴきごとに、ミツの通る部屋へ小さく印をつけさせると、印が2つついた部屋がすぐ見つかります。かどにとまったハチは2本たどることを忘れがちです。

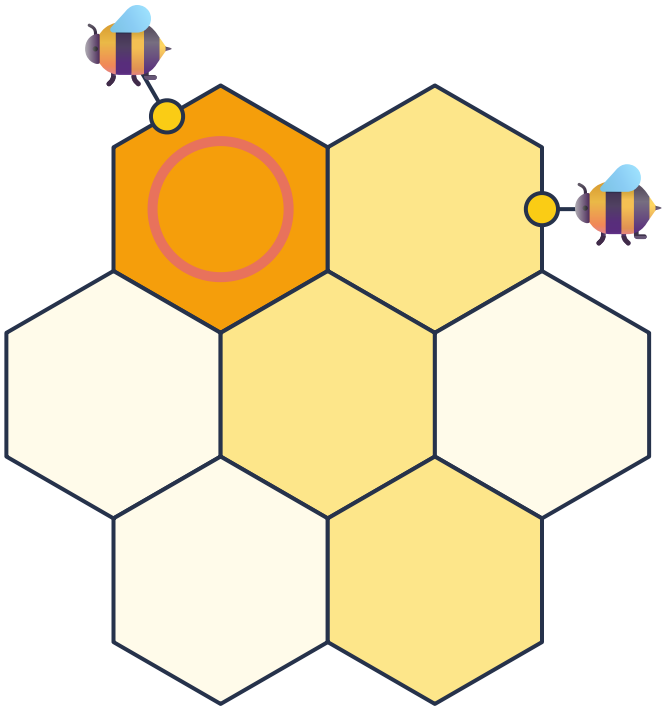
★3と★4は黒い部屋でミツが止まります。「黒い部屋がなければあふれるのに、黒い部屋のおかげであふれない部屋」が必ずあり、ここでひっかかりやすくなります。

問題の紙は、れいだい → ★1 → ★4 の順に渡します。本番と同じく、ルールの説明は1回だけ、訂正は2本の線で消して書き直します。「できる ところまで どんどん」で、全部できなくてもかまいません。

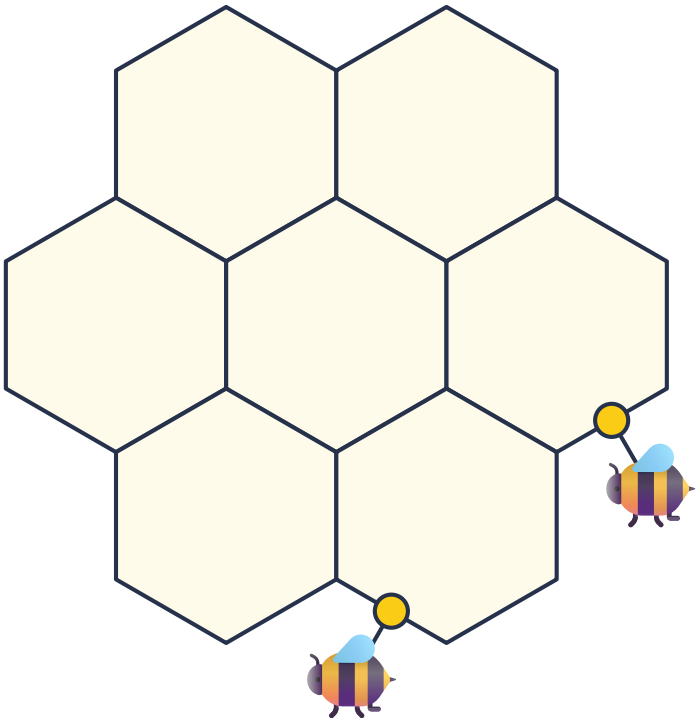
ご購入いただいたご家庭内でお使いください（複製・再配布はご遠慮ください）

3章 ハチの巣のミツ

れい （れいだい）ハチは とまった へやから まっすぐ ミツを はこびます。2ひきの ミツが かさなる ○の へやが、あふれる へやです。

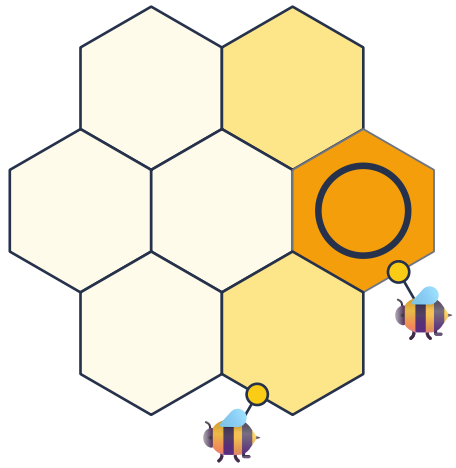


1 ★ ハチは、とまった へやから まっすぐ ならんだ へや ぜんぶに ミツを はこびます。ミツが 2かい はこばれると、へやから あふれて しまいます。ミツが あふれる へやを ぜんぶ えらびましょう。こたえに ○を つけましょう。



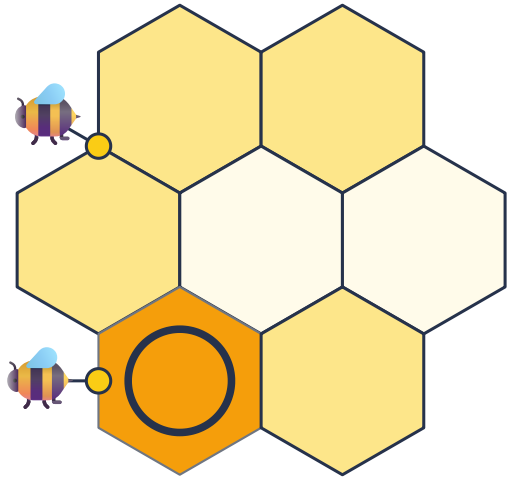
ご購入いただいたご家庭内でお使いください（複製・再配布はご遠慮ください）

1 No. SU-3062



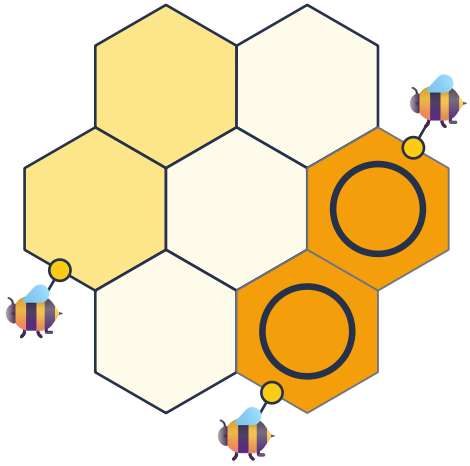
ミツが あふれる へや 1つ（ずの ○）

2 No. SU-3063



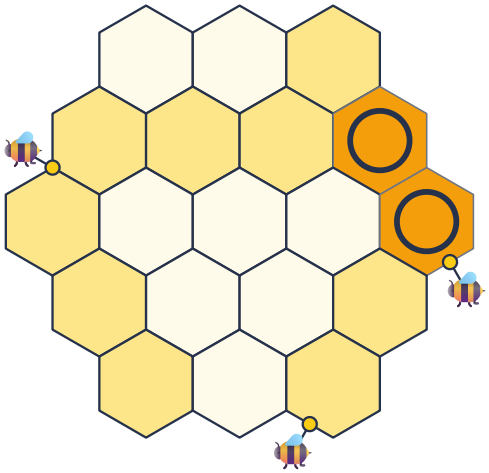
ミツが あふれる へや 1つ（ずの ○）

3 No. SU-3064



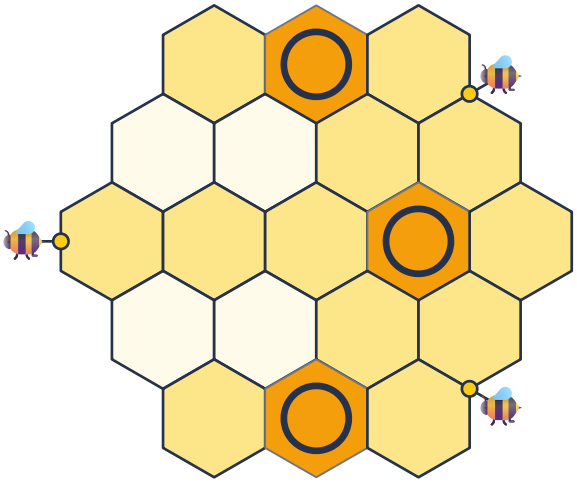
ミツが あふれる へや 2つ（ずの ○）

4 No. SU-3065



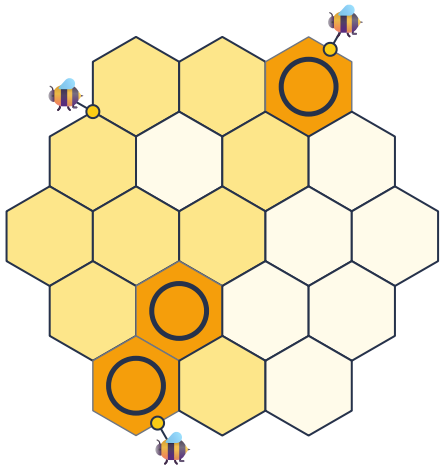
ミツが あふれる へや 2つ（ずの ○）

5 No. SU-3066



ミツが あふれる へや 3つ（ずの ○）

6 No. SU-3067



ミツが あふれる へや 3つ（ずの ○）

本番想定テスト 第1回

よみあげ台本（1/2） 大問 5 ／ れいだい 5 ＋ もんだい 15 ／ めやす 25ぷん

本番と同じ流れで進めます。この台本を1回だけ読み、お子さまには「れいだい」の紙から順に渡します。大問の説明は、れいだいの紙を見せながら読んでください。「はじめてください」で解きはじめ、「やめてください」で次の紙に進みます。

はじめの ことば

おはようございます。このお部屋では、いろいろな問題にチャレンジしてもらいます。問題の説明は一度しかしませんので、よく聞いてください。

先生が「はじめてください」と言ったら、えんぴつを持ってはじめてください。「やめてください」と言ったら、答えるのをやめて、えんぴつを置いてください。

まちがえて○をつけたときは、2本の線で消して、正しいところに○をつけます。では、問題の1枚目を開いてください。

大問1 線つなぎ （れいだい ＋ 3もん）

これから、線をつなぐ問題をします。

これから、同じしるしどうしを線でつなぐ問題をします。

線は、たてと横に進めます。ななめには進めません。ほかのしるしがあるマスと、ほかの線が通ったマスは通れません。

例題を見てください。まると まる、さんかくと さんかくをつなぐと、この図のようになります。線が重ならなければ、ちがうつなぎ方でもかまいません。

まちがえたときは、線を2本の線で消して、書き直してください。★がふえるほど、マスの数と組の数がふえます。

このページと次のページをやります。できるところまでどんどん進みましょう。では、はじめてください。

やめてください。次のページを開いてください。

大問2 ライトと宝石 （れいだい ＋ 3もん）

これから、ライトと宝石の問題をします。

ライトをつけると、ライトからまっすぐな道にそって、道のはしまで光がとどきます。ライトからは、横とななめの、あわせて6つの向きに光が出ます。

石があるところで、光は止まります。石のむこうにはとどきません。

宝石に光が当たると、宝石からも、まっすぐな道ぜんぶに光がとどきます。光が当たっていない宝石は、光りません。

例題を見てください。ライトから6つの向きに光が出て、○のついた虫に当たっています。光が当たる虫をぜんぶさがして、○をつけましょう。

このページと次のページをやります。できるところまでどんどん進みましょう。では、はじめてください。

やめてください。次のページを開いてください。

本番想定テスト 第1回

よみあげ台本（2/2）

大問3　買い物の道 （れいだい ＋ 3もん）

これから、買い物の道の問題をします。

うさぎが、畑を通っておうちに帰ります。畑は部屋に分かれていて、部屋にはにんじんがあります。通った部屋のにんじんは、ぜんぶ取ります。

たてと横に進みます。灰色の部屋は通れません。同じ部屋は1回しか通れません。

問題ごとに、にんじんをちょうど何本持って帰るかを言います。ちょうどその数になる道をさがして、線を書きましょう。

例題を見てください。この道を通ると、にんじんがちょうど決まった数になります。★4では、にんじんとりんごの2つの数を、どちらもちょうどにします。

このページと次のページをやります。できるところまでどんどん進みましょう。では、はじめてください。

やめてください。次のページを開いてください。

大問4　おなじ音をつなげる （れいだい ＋ 3もん）

これから、同じ音をつなげる問題をします。

わくの中に、絵が2つか3つ入っています。わくの中の絵は、名前のはじめの音が同じです。

わくごとに、同じはじめの音を1つ取り出します。取り出した音を、左のわくから順につなげると、1つのことばになります。

例題を見てください。「かめ・かさ」の「か」、「めがね・めだか」の「め」をつなげると「かめ」です。下の絵から「かめ」をさがして、○をつけます。

音の数は、わくの数と同じです。わくが3つなら、3つの音のことばです。下の4つの絵から、できたことばの絵をえらんで○をつけましょう。

このページと次のページをやります。できるところまでどんどん進みましょう。では、はじめてください。

やめてください。次のページを開いてください。

大問5　観覧車しりとり （れいだい ＋ 3もん）

これから、しりとり観覧車の問題をします。

しりとりは、前のことばの終わりの音ではじまることばをつなげていく遊びです。「うみ」の次は「み」ではじまる「みかん」、というようにつなげます。

この観覧車は、しりとり観覧車です。ゴンドラの絵が、矢印の向きにしりとりでつながっています。

例題を見てください。ゴンドラの1つは★になっていて、絵がわかりません。★の前の絵の終わりの音ではじまって、★のあとの絵のはじめの音で終わることばが入ります。

下の4つの絵から、★に入る絵をえらんで、○をつけましょう。入る絵がわかったら、ひとまわりしりとりが続くか、たしかめましょう。

まちがえて○をつけたときは、2本の線で消してください。

このページと次のページをやります。できるところまでどんどん進みましょう。では、はじめてください。

やめてください。次のページを開いてください。

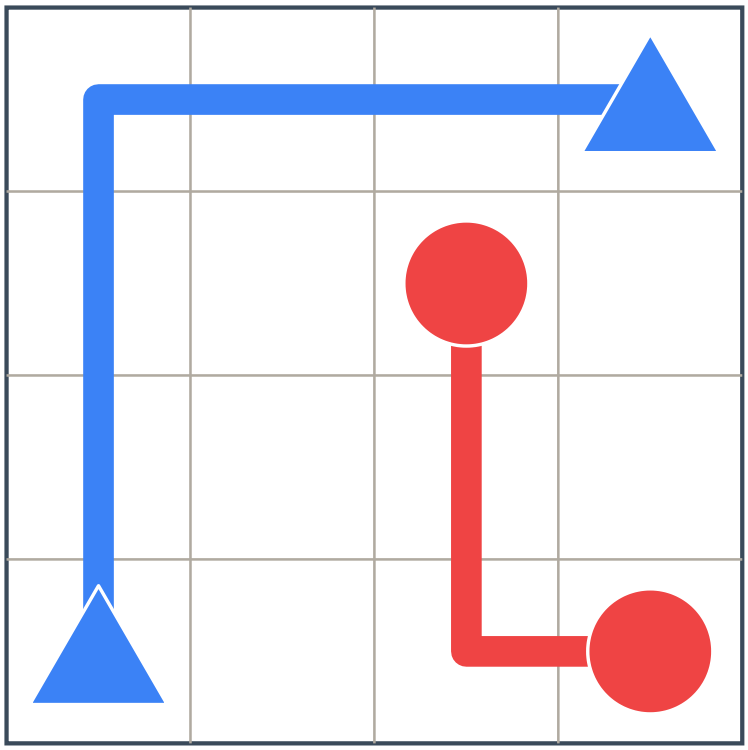
おわりの ことば

ペーパーはこれでおしまいです。えんぴつを置いてください。ありがとうございました。

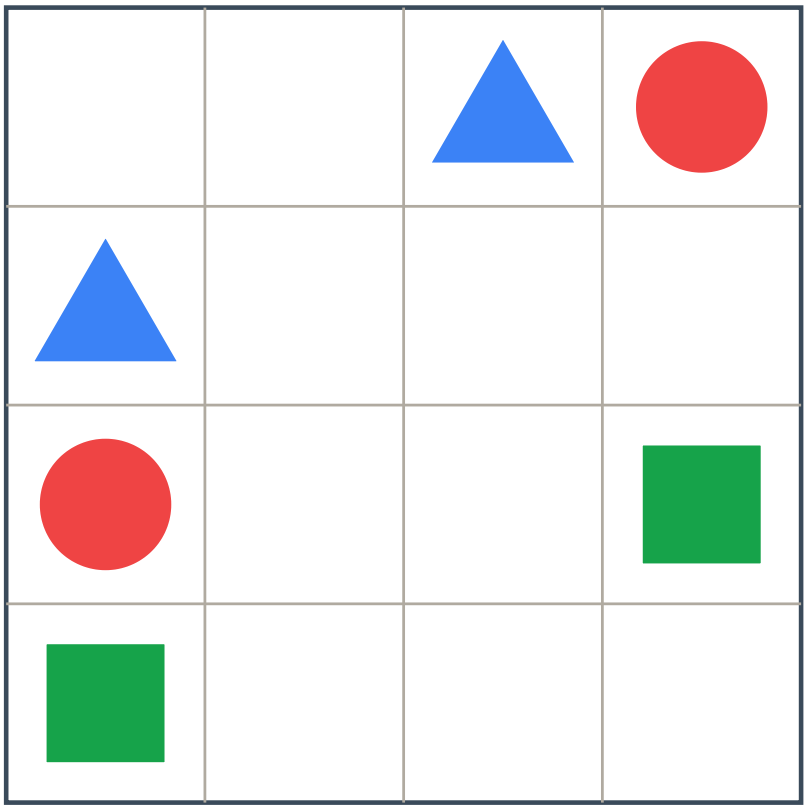
採点は章の「こたえ」の紙で。まちがえた大問は、その形式の章にもどって★1から練習すると、ルールの聞き取りが安定します。

ご購入いただいたご家庭内でお使いください（複製・再配布はご遠慮ください）

れい 大問1　れいだい（せつめいを きいてから、この ずを 見ます）

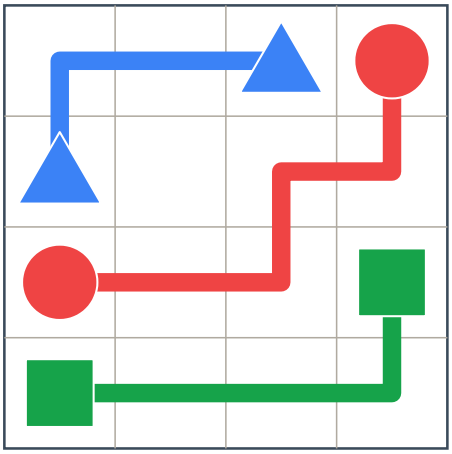


1 ★ 大問1　せつめいを おもいだして とこう



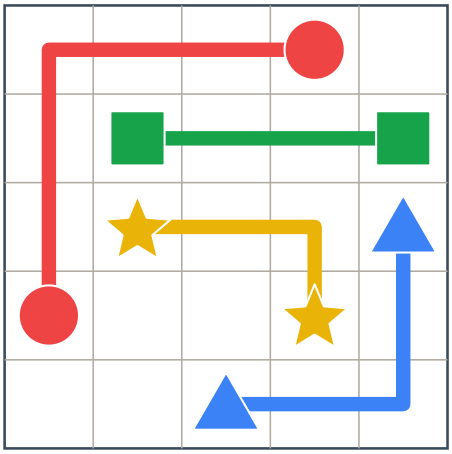
ご購入いただいたご家庭内でお使いください（複製・再配布はご遠慮ください）

1 No. SU-3342



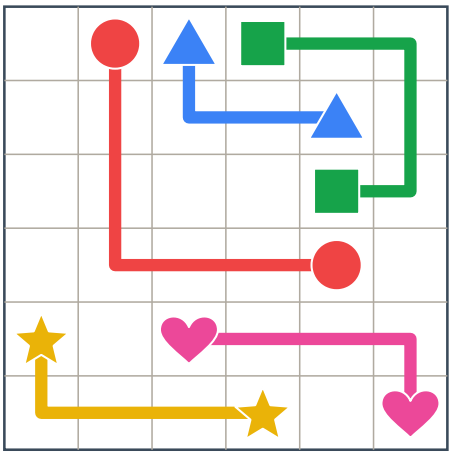
せんは ひとつの れいです。かさならずに つながって いれば せいかいです
せんが かさならずに つながって いれば せいかい

2 No. SU-3343



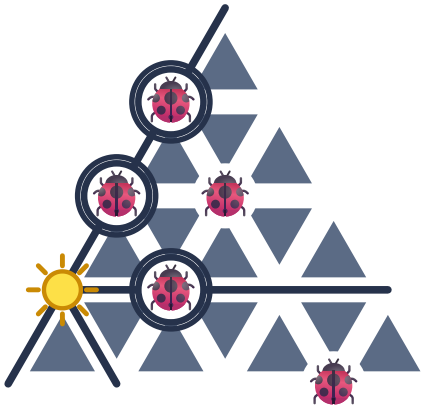
せんは ひとつの れいです。かさならずに つながって いれば せいかいです
せんが かさならずに つながって いれば せいかい

3 No. SU-3344



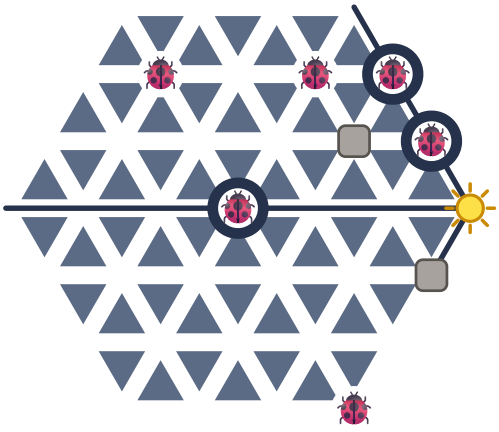
せんは ひとつの れいです。かさならずに つながって いれば せいかいです
せんが かさならずに つながって いれば せいかい

4 No. SU-3346



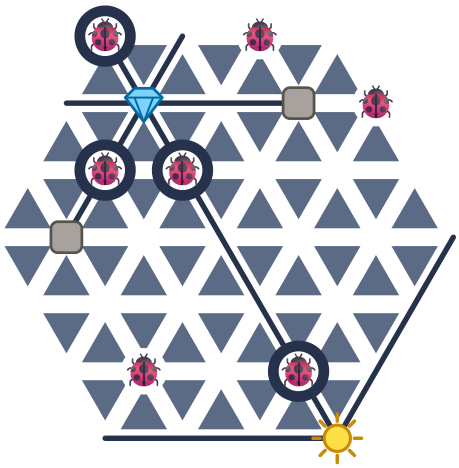
ひかりが あたる むしに ○
ひかりが あたる むし 3ひき（ずの ○）

5 No. SU-3347



ひかりが あたる むしに ○
ひかりが あたる むし 3ひき（ずの ○）

6 No. SU-3348



ひかりが あたる むしに ○
ひかりが あたる むし 4ひき（ずの ○）